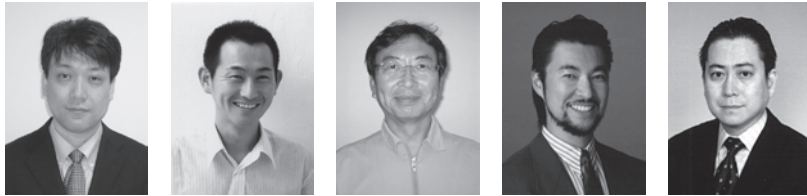


“骨造成”

REGENERATION

～ 専門家が語る心構え～



- 日時：2008年9月21日(日)
AM 10:00 ~ PM 4:30
- 会場：ベルサール九段
東京都千代田区九段北 1-80-10
住友不動産ビル3階
- 受講料：一般・¥15,000
LDA会員・¥5,000
(一般・LDA 会員共に昼食込み)
- 定員数：230名

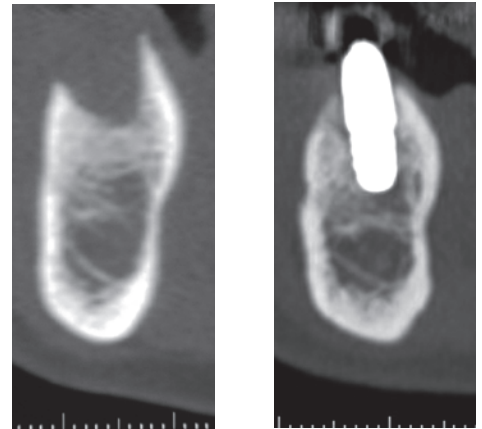
LDA
7th Annual Meeting
Belle Salle Kudan
September 21st, 2008

- 「材料工学から見た再生・疾患骨の骨力学特性支配因子」
～骨質指標としてのアパタイト配向性に注目して～
中野 貴田 先生 [大阪大学大学院工学研究科 教授]
 - 「今話題の新しい歯周組織再生療法 PRGFテクニックの紹介」
佐藤 文昭 先生 [東京都開業：佐藤歯科医院 / 佐藤歯材株式会社 代表取締役]
 - 「インプラント治療のための骨造成の現在と近未来を探る」
菅井 敏郎 先生 [東京都開業：UCインプラントセンター]
- 最新トピックス紹介 ——
- 「象牙質再生・歯髄保護と言う新たな市場の開拓・
自費レジンを用いた審美ニーズの掘り起こし」
井野 泰伸 先生 [豊橋開業：EEデンタル]
- ランチョンセミナー ——
- 「生体鋳物化に着目した硬組織治療促進材料バイオスノーとは」
大黒 俊樹 先生 [(株)吉田製作所・先端製品創生部長 /
神奈川歯科大学口腔診断科学講座]

「骨造成」は今日的话题ですが、残念ながら個人の臨床経験に基づく、散漫な知見が溢れているに過ぎず、サイエンティフィックな理論展開、エビデンスに乏しいようです。本講演会では、「骨造成」の個人臨床家による成功例自慢会ではなく、多くの患者さんへ、聴講者ご自身も、確率論的にも再現性的にもリーズナブルな成果を上げることがめざし、その道しるべ、心構えとなるお話しを紹介します。

材料選択的には、「生体親和性」「吸収性」というまことしやかなキーワードに踊らされ、その意義や実態を目の当たりにする機会に恵まれないために、取り組む実地臨床家は、まさに「迷える子羊」ではないでしょうか。

部位に適した完成骨は、多少飛躍した比喩をすれば、負荷に適切に配向したコラーゲン(鉄筋)とミネラル(セメント)沈着よりなる鉄筋コンクリート構造体と似ています。ところが、現在の骨補填材投入は、鉄筋のできかかった現場に、大きな硬化セメント塊を投げ込むような行為であり、よって吸収が進まないという有効活用されないという生体の要求に背反した行為をとっています。吸収に要する生体のエネルギーも「もったいない」ことではないのでしょうか？



左CT画像は抜歯後7日後。抜歯10日後にインプラント埋入とPRGFを頬側骨欠損部に補填した。右CT画像はインプラント埋入4ヶ月後であるが、このCT経過診断に先立ち、二次オペの段階(埋入12週後)にて目視で歯槽骨形成を確認していた。CT所見では水平方向だけでなく垂直方向にも歯槽骨造成が認められる。

資料提供・解説 / 佐藤 文昭 先生

お申し込み方法：下記申込書をメールまたはFAXにて事務局までお送りいただいた上、お早めに下記口座に受講料をお振り込み下さい。(入金が確認されない場合には申し込みを取り消させていただきます。なお、定員の230名になり次第受付を終了しますので、お早めにお申し込み下さい。
<入金口座>三井住友銀行 神田支店 普通 6716043 LDA (エルディーエー)

お申し込み・お問い合わせ: LDA事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-4 日本歯科新聞社内
TEL: 03-3234-2475 FAX: 03-3234-2477 <http://www.LDA-online.com/>

「第7回LDA学術講演会」参加申込書 (FAX:03-3234-2477) ●E-Mailでも承っております。 main-office@lda-online.com

氏名	<input type="checkbox"/> LDA会員 <input type="checkbox"/> 一般	勤務先	
TEL		FAX	
住所	〒		
e-mail			

※ご入金の確認を取った上で、事務局より受講票を送付致します。講演会当日にご持参下さい。